

平成30年4月9日

各 位

中国運輸局自動車交通部旅客第一課

平成30年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通バリア解消促進等事業）及び訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金（交通サービス利便向上促進事業）並びに旅行環境整備事業費補助金（交通サービス利便性向上促進事業）に係る要望調査について（依頼）

平成30年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（サバイバル）及び訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金（インバウンド）並びに旅行環境整備事業費補助金（旅行環境）（インバウンドと併せ「観光関係」）の執行に必要なため、下記のとおり調査を実施し、取りまとめのうえ、平成30年4月25日（水）【注：企画乗車船券については4月16日（月）】までに、回答頂きますようよろしくお願いいたします。

記

1. 調査の実施

（1）サバイバル補助

「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱」、「地域公共交通確保維持改善事業実施要領」及び「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通バリア解消促進等事業（自動車））に関する運用方針」に従って調査を実施してください。

（2）観光関係補助

「旅行環境整備事業費補助金交付要綱」、「旅行環境整備事業実施要領」「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金交付要綱」、「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業実施要領」及び「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金（交通サービス利便向上促進事業（自動車））に関する運用方針」に従って調査を実施してください。

※ ノンステップバス、リフト付きバス、ユニバーサルデザインタクシー、BRT、PTPSについては、サバイバル補助・インバウンド補助の共通要望一覧表で整理することとするが、使用目的を次の3つ（①両方のニーズがある、②サバイバル〔③以外〕のみ、③インバウンド〔空港アクセス、観光周遊〕のみ）を記載すること。（②、③を選択した場合は、当該予算範囲内で補助が検討されることとなる。）



2. 調査様式（エクセルファイル）

- ・【事業者名〇〇】（サバイバル・インバンド共通）30年度要望調査様式
- ・【事業者名〇〇】（インバンド／旅行環境）30年度要望調査様式
- ・【事業者名〇〇】（サバイバル）30年度要望調査様式
- ・【事業者名〇〇】 H31(来年度)～33年度導入スケジュール
⇒ ICカード、バスロケ、リフト付バス、BRTについて確認
H30年度に要望が無い事業者にも確認すること

3. 留意事項

- (1) 本要望調査の提出を申請にあたっての必須要件とします。申請を予定している事業は必ず記載をお願いします。

なお、全体の執行予定額等を把握する必要があるため、事業の追加や取り下げが生じた場合は、随時、要望一覧表を更新の上、あらかじめご報告ください。

- (2) 交付申請書の提出にあたっては、以下を添付する必要があります。

サバイバル補助：都道府県等協議会において策定された「生活交通確保維持改善計画（生活交通改善事業計画）」

観光関係補助：観光ビジョン推進地方ブロック戦略会議において策定された「事業実施計画」

- (3) 予算上の制約

平成30年度予算額の枠もあり、要望がそのまま認められない場合もあります。

なお、執行（査定）方針については、要望額とりまとめ後に改めて通知する予定ですが、昨年と同様にアンケート調査などを実施する可能性があります。

- (4) 事業着手について

本補助金は交付決定後に事業着手（契約・発注）する事案が補助対象となり、交付決定前に事業着手した場合は補助対象とならないことに留意願います。

<要綱の改正点>

- (1) 新規補助メニューの追加

車両内における無料公衆無線LAN、多言語案内用タブレット端末

- (2) バスターミナル事業者への既存補助メニューの追加

無料公衆無線LAN、案内放送の多言語化

4. 今後の予定スケジュール

～4月下旬 事業者への要望調査

～5月下旬 補助事業の内定し、事業者通知

～6月下旬 都道府県協議会（2次交通WG）開催後、交付申請受付

～7月中旬 交付決定

平成30年度 交通系ICカードシステム 要望一覧表【インバウンド】

〇月〇日時点

運輸局	都道府県	市区町村	補助対象事業者名	事業内容	事業予定着手日	事業予定完了日	補助対象経費(円)	国庫補助要望額(円)	地方公共団体要望額(円)	事業者負担額(円)	区分1	区分2	区分3	ICカードシステム新規導入車両に係る車内での次停留所名に関する多言語での情報提供			備考 (事業内容の詳細等)	
											①新規導入 ②エリア拡大 ③その他 (システム改修等)	①全国系ICカード ②地域独自カード (片利用方式)	①10カードを相互利用可能にするための改修 ②10カードを片利用可能にするための改修	運賃案内板、行き先案内表示板での表示	案内放送(録音又は車内マイク)	整備車両		
補助申請の内容について、以下の種類に応じて、記載して下さい。 ① 新規導入とは、交通系ICカードを初めて導入する場合。 ② エリア拡大とは既に一部のエリア／車両に導入している事業者が、そのエリア・車両数を拡大させる場合。 なお、この場合、エリアについては、〇〇営業所管内、△△地区等の具体名を備考欄に記載すること。 ③ ①～②に該当しないもの。					導入するもしくは導入しているICカードの種類を記載して下さい。 その他の場合は空欄としてください。 ①全国系ICカードとは、「Kitaca、Suica、PASMO、TOICA、manaca、ICOCA、PiTaPa、SUGOCA、はやかけん、nimoca」をいう。 ②地域独自カード(片利用方式)とは、単なる地域独自カード(※)と異なり「地域独自カードの利用範囲において、全国系ICカードの利用ができるICカード」をいう。 (※)地域独自カードとは、全国系ICカードと異なり「限られた地域でしか利用できないICカード」をいう。						①10カードを相互利用可能にするための改修 ②10カードを片利用可能にするための改修	①日本語以外に英語又はナンバリングのみ ②日本語以外に英語を含む複数言語 ③日本語のみ	①日本語以外に英語又はナンバリングのみ ②日本語以外に英語を含む複数言語 ③日本語のみ	①全車両 ②一部車両 ③全車両 ④一部車両	既にICカードシステムを導入しており、かつ、日本語対応のみの車両のうち、今後、英語又は英語を含む複数言語での情報提供を予定している車両があれば、備考欄に、「多言語対応予定車両あり」と記載すること。			
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	〇〇バス(株)	バスICカードシステムの導入	H29.5.1	H30.1.30		0		①	①		①		②	×	一部車両としている理由は、外国人観光客が最も多く利用するエリアを走行する路線を主に運行する導入済み車両または新たに導入する車両としているため。(別添対象路線図を添付。)
1									0									
2									0									
3									0									
								0	0									

【注意事項】

- ・千円未満は切り捨てること。
- ・地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
- ・事業内容の詳細は備考欄に記載すること。
- ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。

平成30年度 バスロケーションシステム 要望一覧表【インバウンド】

〇月〇日時点

運輸局		都道府県		市区町村		補助対象事業者名		事業内容		区分2を②と回答した場合のみ、記載して下さい。		区分1		区分2		区分3		バスロケーションシステム新規導入路線を運行する車両に係る車内での次停留所名に関する多言語での情報提供			備考 (事業内容の詳細等)	
										事業予定着手日	事業完了日	補助対象経費(円)	国庫補助要望額(円)	地方公共団体要望額(円)	事業者負担額(円)	①新規導入 ②エリア拡大 ③その他(システム改修等)	①バス停・バスターミナル等に設置した表示器(モニター)による情報提供 ②携帯電話・パソコン等による情報提供	①無料公衆無線LANが既に使用できる環境にある場合 ②無料公衆無線LANの整備予定がある場合 ③無料公衆無線LANの整備予定がない場合	バスロケーションシステム導入に併せて整備)	①日本語以外に英語又はナンバリングのみ ②日本語以外に英語を含む複数言語 ③日本語のみ		
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	〇〇バス(株)	バスロケーションシステムの導入	H29.5.1	H30.1.30		0			①	①	①	③	×	・一部対象車両としている理由は、車両運用上外国人観光客が最も多く利用するエリアを走行する路線を主に運行する導入済み(新たに導入する)車両としているため。(別添で対象路線図を添付。)					
1									0													
2									0													
3									0													
4									0													
5									0													
									0	0												

【注意事項】

- ・千円未満は切り捨てること。
- ・地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
- ・事業内容の詳細は備考欄に記載すること。
- ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。

平成30年度 その他ITシステム等高度化 要望一覧表 【インバウンド】

〇月〇日時点

	運輸局	都道府県	市区町村	補助対象事業者名	事業内容	事業着手予定日	事業完了予定日	補助対象経費(円)	国庫補助要望額(円)	地方公共団体要望額(円)	事業者負担額(円)	インバウンド対応の観点を含む高度化	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	〇〇バス(株)	データ分析システムの高度化	H29.5.1	H30.1.30		0				・外国人観光客の乗降数データ分析プログラムの追加によるインバウンド対応サービス強化を実施
1									0				
2									0				
								0	0				

【注意事項】

- ・千円未満は切り捨てること。
- ・地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
- ・事業内容の詳細は備考欄に記載すること。
- ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入
- ・インバウンド対応の観点を含む高度化の欄は該当する場合は「○」を、該当しない場合は「×」を記載して下さい。

平成30年度 トイレの洋式化及び機能向上 要望一覧表【インバウンド】

〇月〇日時点

項番	運輸局	都道府県	市区町村	補助対象 事業者名	整備予定箇所	整備数	事業 着手 予定 日	事業 完了 予定 日	補助対象 経費 (円)	国庫補助 要望額 (円)	地方公共 団体 要望額 (円)	事業者 負担額 (円)	基本項目 ①和式便器の洋式化 ②洋式便器の増設 ③洋式便器の旧式から新式への交換 ④洋式便器の新設	追加整備項目(整備する場合のみ記載) 温水洗浄便座の設置、ハンドドライヤーの設置、洗面器の設置・交換、小便器の設置・交換、多言語化またはピクトサイン等により案内標識、その他	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市	〇〇〇	〇〇バス停	2カ所	H29.6.15	H30.1.30	900,000	300,000	0	600,000	①	温水洗浄便座の設置	
1															
2															
3															
4															
5															
合計									0	0	0	0	0	0	

・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。

平成30年度 段差の解消及び多機能トイレの設置等 要望一覧表【インバウンド】

〇月〇日時点

	運輸局	都道府県	市区町村	補助対象事業者名	事業内容	予定手 業日 着	予定手 業日 完	補助対象 経費 (円)	国庫補助 要望額 (円)	地方公共 団体要望額 (円)	事業者 負担額 (円)	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	〇〇県タクシー協会	タクシー乗り場の段差の解消 (傾斜路の設置)	H29.6.15	H30.1.30					
1												
2												
3												
合 計								0	0			

【注意事項】

- ・千円未満は切り捨てること。
- ・協議会名、地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
- ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。
- ・国庫補助要望額は補助対象経費に1/3を乗じて得た額とする。

平成30年度 無料公衆無線LANの整備 要望一覧表【旅行環境】

〇月〇日時点

項番	運輸局	都道府県	市区町村	補助対象事業者名	整備予定箇所	整備数	予定手業日着	予定了業日完	補助対象経費(円)	国庫補助要望額(円)	地方公共団体要望額(円)	事業者負担額(円)	備考 (整備予定箇所を選択した理由等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市	〇〇〇	〇〇バス停	2カ所	H29.6.15	H30.1.30	900,000	300,000	0	600,000	・〇〇バス停は訪日外国人の利用者数が多いため(人気観光スポットの最寄りのバス停) ・平成30年度バスロケーションシステムと併せて整備する予定
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市	〇〇〇	車内	10台	H29.6.15	H30.1.30	1,800,000	600,000	0	600,000	
1													
2													
3													
4													
5													
合計									0	0	0	0	

・平成30年度のバスロケーションシステム整備に併せて無料公衆無線LAN整備するものにあつては、その旨、備考欄に記載すること。

・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。

平成30年度 多言語化(タブレット以外) 要望一覧表【旅行環境】

〇月〇日時点

項番	運輸局	都道府県	市区町村	補助対象事業者名	多言語化対象	事業内容	事業着手予定日	事業完了予定日	補助対象経費(円)	国庫補助要望額(円)	地方公共団体要望額(円)	事業者負担額(円)	備考 (事業内容の詳細等) ※ 言語の記載は必須
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市	〇〇〇	可変式案内表示装置	車内停留所名表示機が多言語化	H29.6.15	H30.1.30	900,000	300,000	0	600,000	・英語、中国語、韓国語 ・バスICカード整備に併せて車内表示板の多言語化を実施
1													
2													
3													
4													
5													
合計									0	0	0	0	

・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。

・多言語化対象の欄には、案内標識、可変式情報表示装置、HP、案内放送、その他、観光案内所のいずれかを記載すること。

平成30年度 多言語案内用タブレット端末 要望一覧表【旅行環境】

〇月〇日時点

項番	運輸局	都道府県	市区町村	補助対象事業者名	事業内容	導入予定台数	事業着手予定日	事業完了予定日	補助対象経費(円)	国庫補助要望額(円)	地方公共団体要望額(円)	事業者負担額(円)	①無料公衆無線LAN及び多言語表記等と併せて導入 ②無料公衆無線LANと併せて導入 ③多言語表記等と併せて導入 ④無料公衆無線LAN及び多言語表記等については整備済	翻訳アプリをインストールする	その他、訪日外国人旅行者の移動円滑化に資する多言語情報をインストールする	備考 (事業内容の詳細等) ※ 言語の記載は必須
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市	〇〇〇	多言語案内用タブレット端末の整備	50台	H29.6.15	H30.1.30	900,000	300,000	0	600,000	②	○	○	・英語、中国語、韓国語 ・路線図の多言語情報をインストール予定
1																
2																
3																
4																
5																
合計									0	0	0	0				

・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。

平成30年度 企画乗車船券の造成等 要望一覧表【インバウンド】

【バス事業者】

No.	運輸局	都道府県	市区町村	補助対象事業者名 (※1)	取りまとめ事業者名	事業内容	事業着手 予定日	販売開始 予定日	事業完了 予定日	補助対象経費 (円)	国庫補助 要望額 (円)	地方公共 団体負担額 (円)	事業者 負担額 (円)	補助対象経費 (※3)	商品内容や販売促進に関する創意工夫
記載例	〇〇	〇〇県	〇〇市 ××町	〇〇バス 〇×バス	〇〇バス	別添「企画乗車船券 の概要」のとおり (※2)	H30.8	H31.1	H31.3	2,400,000	800,000	0	1,600,000	・券片の製作 ・乗車券作成 ・ウェブサイト製作 ・企画乗車券紹介ページ作成 ・プロモーション ・宣伝ポスター・チラシ作成	
合 計										2,400,000	800,000	0	1,600,000		

※1 補助対象事業者が複数の公共交通事業者の場合にあっては、全ての事業者名を、補助対象事業者が団体等の場合にあっては、当該団体名を記載すること。

※2 別添「企画乗車船券の概要」を作成の上、提出すること。

※3 「実施要領に記載の補助対象経費の該当項目」及び「具体的な実施内容」がわかるように記載すること。

企画乗車船券の概要

取りまとめ事業者名: _____

補助対象事業の名称: _____

補助対象事業者※	
補助対象事業の目的	
補助対象事業の内容	対象となる交通事業者
	対象エリア・路線等
	商品内容

※補助対象事業者が複数の公共交通事業者の場合にあっては、全ての事業者名を、補助対象事業者が団体等の場合にあっては、当該団体名を記載すること。

項目	今回造成等を行う企画乗車船券	既存の企画乗車船券
対象となる交通事業者		
対象エリア・路線等		
販売期間		
有効期間		
販売予定価格		
商品内容		
備考		
当該地域における既存の企画乗車船券との整理		

(注)

1. 既存の類似する企画乗車船券がある場合には、当該企画乗車船券の概要を右の欄に記載し、変更箇所の下線を引く等、変更点がわかるように記載すること。
2. 複数の種類の企画乗車船券の造成等を行う場合、企画乗車船券の種類ごとに分けて作成すること。

企画乗車船券の概要

取りまとめ事業者名: ○○バス(株)

補助対象事業の名称: ○△地方周遊きっぷの造成

補助対象事業者	○○バス(株)、(株)○×バス
補助対象事業の目的	○△地方の観光地を周遊できるようにすることで、訪日外国人旅行者の周遊利便性向上を図る。
補助対象事業の内容	対象となる交通事業者 ○○バス(株)、(株)○×バス
	対象エリア・路線等 ○△地方(××県A市、B市、C市)の全路線
	商品内容 ○△地方(A市、B市、C市)を運行する路線バス(○○バス、○×バス)を何度でも利用できるフリー切符と△×博物館の割引券を組み合わせた切符

※補助対象事業者が複数の公共交通事業者の場合にあっては、全ての事業者名を、補助対象事業者が団体等の場合にあっては、当該団体名を記載すること。

項目	今回造成等を行う企画乗車船券	既存の企画乗車船券
対象となる交通事業者	○○バス(株)、(株)○×バス	○○バス(株)
対象エリア・路線等	○△地方(××県A市、B市、C市)の全路線	××県A市内の全路線
販売期間	平成○年○月○日～平成△年△月△日	平成○年○月○日～平成△年△月△日
有効期間	3日間	1日間
販売予定価格	○○○円	△△△円
商品内容	・○△地方(A市、B市、C市)を運行する路線バス(○○バス、○×バス)を何度でも利用できるフリー切符と△×博物館の割引券を組み合わせた切符	・A市を運行する路線バス(○○バス)を何度でも利用できるフリー切符
備考		
当該地域における既存の企画乗車船券との整理	A市を運行する○○バスの1日フリー切符に加えて、新たにB市、C市を運行する○×バスも対象とすることで、○△地方のバスによる広域な移動が可能となる。また、併せて有効期間を3日間とし、長期滞在を促進する。	

(注)

1. 既存の類似する企画乗車船券がある場合には、当該企画乗車船券の概要を右の欄に記載し、変更箇所の下線を引く等、変更点がわかるように記載すること。
2. 複数の種類の企画乗車船券の造成等を行う場合、企画乗車船券の種類ごとに分けて作成すること。

企画乗車船券の概要

取りまとめ事業者名： ○○バス(株)

補助対象事業の名称： ○△地方周遊きっぷの造成

補助対象事業者	○○バス(株)、(株)○×バス
補助対象事業の目的	○△地方の観光地を周遊できるようにすることで、訪日外国人旅行者の周遊利便性向上を図る。
補助対象事業の内容	対象となる交通事業者 ○○バス(株)、(株)○×バス
	対象エリア・路線等 ○△地方(××県A市、B市、C市)の全路線
	商品内容 ○△地方(A市、B市、C市)を運行する路線バス(○○バス、○×バス)を何度でも利用できるフリー切符と△×博物館の割引券を組み合わせた切符

※補助対象事業者が複数の公共交通事業者の場合にあっては、全ての事業者名を、補助対象事業者が団体等の場合にあっては、当該団体名を記載すること。

項目	今回造成等を行う企画乗車船券	既存の企画乗車船券
対象となる交通事業者	○○バス(株)、(株)○×バス	
対象エリア・路線等	○△地方(××県A市、B市、C市)の全路線	
販売期間	平成○年○月○日～平成△年△月△日	
有効期間	3日間	
販売予定価格	○○○円	
商品内容	・○△地方(A市、B市、C市)を運行する路線バス(○○バス、○×バス)を何度でも利用できるフリー切符と△×博物館の割引券を組み合わせた切符	
備考		
当該地域における既存の企画乗車船券との整理	既存の企画乗車船券はありません。(既存の企画乗車船券がない旨を明記してください。)	

(注)

1. 既存の類似する企画乗車船券がある場合には、当該企画乗車船券の概要を右の欄に記載し、変更箇所の下線を引く等、変更点がわかるように記載すること。
2. 複数の種類の企画乗車船券の造成等を行う場合、企画乗車船券の種類ごとに分けて作成すること。

平成30年度 福祉タクシー車両購入 要望一覧表【サバイバル】

○月○日時点

	運輸局	都道府県	市区町村	協議会名	補助対象事業者名	事業内容	車両数	事業着手予定日	事業完了予定日	補助対象経費(円)	国庫補助要望額(円)	地方公共団体要望額(円)	事業者負担額(円)	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	地域公共交通 〇〇協議会	〇〇タクシー (株)	福祉タクシー車両の購入	2	H29.6.15	H30.1.30					・スロープ車
1														
2														
3														
合 計										0	0			

【注意事項】

- ・千円未満は切り捨てること。
- ・協議会名、地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
- ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。
- ・車両の購入、改造の別を明確に記載すること。
- ・車両の購入の場合、新車に限る。
- ・国庫補助要望額については下記に従い記入すること。
- 車両購入の場合、補助率は車両本体価格に1/3を乗じた額と以下の補助限度額を比較し、いずれか低い額を補助額とする。
 - ア. リフトを装備する車両: 1両当たり80万円
 - イ. スロープを装備する車両: 1両当たり60万円
 - ウ. 回転シートを装備する車両: 1両当たり60万円
- 車両改造の場合、補助率は改造に要する経費に1/3を乗じた額と以下の補助限度額を比較し、いずれか低い額を補助額とする。
 - ア. リフトを装着するための改造: 1両当たり35万円
 - イ. スロープを装着するための改造: 1両当たり25万円
 - ウ. 寝台(ストレッチャー)を乗車させるための専用の設備を装着するための改造: 1両当たり55万円

平成30年度 バスターミナル、待合・乗継環境の向上等 要望一覧表【サバイバル】

〇月〇日時点

	運輸局	都道府県	市区町村	協議会名	補助対象事業者名	事業内容	事業着手 予定日	事業完了 予定日	補助対象 経費 (円)	国庫補助 要望額 (円)	地方公共 団体 要望額 (円)	事業者 負担額 (円)	多言語 対応	高速 バス	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	地域公共交通 〇〇協議会	〇〇バスセン ター(株)	バスターミナルの段差の解消 (エレベーターの設置)	H29.6.15	H30.1.30		0				×	・エレベータ〇機
1										0					
2										0					
3										0					
合 計									0	0					

- 【注意事項】
- ・千円未満は切り捨てること。
 - ・協議会名、地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
 - ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。
 - ・多言語対応は、情報提供案内板の設置事業やHP作成事業において、日本語の他に英語等(英語のみでも可)を表示する場合を「○」とする。該当しない場合は「×」を記載すること。
 - ・高速バスに関する事業にあっては「○」を、関係ない事業にあっては「×」を記載すること。

平成30年度 タクシー乗り場、待合・乗継環境の向上等事業 要望一覧表【サバイバル】

〇月〇日時点

	運輸局	都道府県	市区町村	協議会名	補助対象事業者名	事業内容	予 事 定手業 日 着	予 事 定了業 日 完	補助対象 経費 (円)	国庫補助 要望額 (円)	地方公共 団体要望額 (円)	事業者 負担額 (円)	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	地域公共交通 〇〇協議会	〇〇県タクシー 協会	タクシー乗り場の段差の解消 (傾斜路の設置)	H29.6.15	H30.1.30					
1													
2													
3													
合 計									0	0			

【注意事項】

- ・千円未満は切り捨てること。
- ・協議会名、地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
- ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。
- ・国庫補助要望額は補助対象経費に1/3を乗じて得た額とする。

平成30年度 バス車両(ノンステップバス) 要望一覧表【サバイバル・インバウンド共通】

〇月〇日時点

	運輸局	都道府県	市区町村	協議会名	補助対象 事業者名	事業内容	型	車両数	事業 着手 予定日	事業 完了 予定日	補助対象 経費 (単価× 台数分) (円)	通常車両 価格 (単価× 台数分) (円)	差額の 1/2 (円)	補助上限額 (140万× 台数分) (円)	国庫補助 要望額 (円)	地方公共 団体 要望額 (円)	事業者 負担額 (円)	使用目的 ① 両ニーズに対応 ② サバイバルのみ ③ インバウンドのみ	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	地域公共交通 〇〇協議会	〇〇バス(株)	ノンステップバスの導入	中型	3	H29.6.15	H30.1.30			0	4,200,000	0			①	(例) ・大型1両、中型2両(うち1 両は中古車)
1													0	0	0				
2													0	0	0				
3													0	0	0				
合 計								0			0				0				

【注意事項】

- (共通)
- ・千円未満は切り捨てること。
 - ・協議会名、地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
 - ・補助対象経費及び通常車両価格に、消費税抜きで記載すること。
 - ただし公営事業者等で仕入控除を行わない者が補助対象経費に消費税額を含めた場合は、通常車両価格は1.08を乗じたものとする。 (その際は補助上限額についても1.08倍を乗じたものとする。)
 - ・事業内容の欄は、中古車の場合はその旨を記載すること。
 - ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。
 - ・ノンステップバスの通常車両価格については、下記車両区分の単価に従い、台数分を乗じて記載すること。
 - 車両全長9m以上…大型 通常車両価格 18,800,000円
 - 車両全長7m以上9m未満…中型 通常車両価格 15,400,000円
 - 車両全長7m未満…小型 通常車両価格 13,400,000円
 - ・ノンステップバスは代替車両を含まない台数とすること。

平成30年度 バス車両(リフト付きバス) 要望一覧表【サバイバル・インバウンド共通】

〇月〇日時点

	運輸局	都道府県	市区町村	協議会名	補助対象 事業者名	事業内容	型	車両数	事業 予定 着手 日	事業 完了 日	補助対象 経費 (単価× 台数分) (円)	通常車両 価格 (単価× 台数分) (円)	差額の 1/2 (円)	補助上限額 (140万× 台数分) (円)	国庫補助 要望額 (円)	地方公共 団体 要望額 (円)	事業者 負担額 (円)	使用目的 ① 両ニーズに対応 ② サバイバルのみ ③ インバウンドのみ	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	地域公共交通 〇〇協議会	〇〇バス(株)	リフト付きバスの導入	中型	3	H29.6.15	H30.1.30			0	4,200,000	0			①	(例) ・「空港」
1													0	0	0				
2													0	0	0				
3													0	0	0				
合 計								0			0				0				

【注意事項】

(共通)

- ・千円未満は切り捨てること。
- ・協議会名、地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
- ・補助対象経費及び通常車両価格に、消費税抜きで記載すること。
- ただし公営事業者等で仕入控除を行わない者が補助対象経費に消費税額を含めた場合は、通常車両価格は1.08を乗じたものとする。 (その際は補助上限額についても1.08倍を乗じたものとする。)
- ・事業内容の欄は、中古車の場合はその旨を記載すること。
- ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。

(リフト付きバス)

- ・リフト付きバスの場合は車両本体なのか改造費なのか分かるように記載すること。
 - ・備考欄に貸切バスは「貸切」、空港アクセスバスは「空港」、高速バス「高速」と記載すること。
- ※ダブルデッカーバスも対象とする。

平成30年度 UDタクシー車両 要望一覧表【サバイバル・インバウンド共通】

○月○日時点

	運輸局	都道府県	市区町村	協議会名	補助対象事業者名	事業内容	車両数	事業着手予定日	事業完了予定日	補助対象経費(円)	国庫補助要望額(円)	地方公共団体要望額(円)	事業者負担額(円)	使用目的 ① 高ニーズに対応 ② サバイバルのみ ③ インバウンドのみ	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	地域公共交通 〇〇協議会	〇〇タクシー (株)	UDタクシー車両の購入	2	H29.6.15	H30.1.30					①	・トヨタ(ジャパントクシー): 1両導入 ・ニッサン(NV200): 1両導入
1															
2															
3															
合 計										0	0				

【注意事項】

- ・千円未満は切り捨てること。
- ・協議会名、地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
- ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。
- ・備考欄にはメーカー名、車種を記載すること。
- ・国庫補助要望額については下記に従い記入すること。
車両本体価格に1/3を乗じて得た額と、1両当たりの上限額60万円を比較し、いずれか低い額以内の額を補助額とする。
- ・使用目的を備考に記載すること(パリフリ目的のみ、インバウンド目的のみ、パリフリとインバウンド目的)

平成30年度 BRTシステム整備事業 要望一覧表【サバイバル・インバウンド共通】

〇月〇日時点

	運輸局	都道府県	市区町村	協議会名	補助対象 事業者名	事業内容	事業 予定日 着手	事業 完了 予定日	補助対象 経費 (円)	国庫補助 要望額 (円)	地方公共 団体要望額 (円)	事業者 負担額 (円)	使用目的 ① 両ニーズに対応 ② サバイバルのみ ③ インバウンドのみ	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	地域公共交通 〇〇協議会	〇〇バス(株)	BRTシステムの導入	H29.6.15	H30.1.30					①	・接続バス:2両 ・PTPS整備
1														
2														
3														
合 計									0	0				

【注意事項】

- ・千円未満は切り捨てること。
- ・協議会名、地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
- ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。
- ・備考に車両以外の整備状況を記載すること。

平成30年度 PTPS 要望一覧表【サバイバル・インバウンド共通】

〇月〇日時点

	運輸局	都道府県	市区町村	補助対象事業者名	事業内容	事業着手 予定日	事業完了 予定日	補助対象 経費 (円)	国庫補助 要望額 (円)	地方公共 団体 要望額 (円)	事業者 負担額 (円)	使用目的 ① 両ニーズに対応 ② サバイバルのみ ③ インバウンドのみ	備考 (事業内容の詳細等)
例	〇〇運輸局	〇〇県	〇〇市、〇〇市	〇〇バス(株)	公共車両優先システム(PTPS)に係る車載器の整備	H29.5.1	H30.1.30		0			①	
1									0				
2									0				
								0	0				

- 【注意事項】
- ・千円未満は切り捨てること。
 - ・地方公共団体要望額などが未定の場合は空欄でよい。
 - ・事業内容の詳細は備考欄に記載すること。
 - ・地方公共団体要望額は、要望している場合のみ記入すること。
 - ・備考にPTPSの台数を記載すること。

○ICカード導入予定

	事業者	H31年度	H32年度	H33年度
		事業概要	事業概要	事業概要
例	△△△	・全国系ICカードシステム導入(新規) ・車内での次停留所案内の多言語化		
1				
2				
3				
4				
5				

※事業概要には新規・エリア拡大・システム改修のいずれかを記載すること。
※記載時点で計画しているものとする。

○バスロケ導入予定

	事業者	H31年度	H32年度	H33年度
		事業概要	事業概要	事業概要
例	△△△	・車載器の導入(新規) ・車内での次停留所案内の多言語化		
1				
2				
3				
4				
5				

※事業概要には新規・エリア拡大・システム改修のいずれかを記載すること。
※記載時点で計画しているものとする。

○リフト付バス(ダブルデッカーバス)導入予定

	事業者名	H31年度	H32年度	H33年度
		事業概要	事業概要	事業概要
例	〇〇〇	・乗合事業 リフト付(新車)1両 ・△△駅～□□空港に導入予定		
1				
2				
3				
4				
5				

※記載時点で計画しているものとする。

OBRT導入予定

	事業者名	H31年度	H32年度	H33年度
		事業概要	事業概要	事業概要
例	〇〇〇	・△△～□□に導入予定 ・接続バス2両、PTPS導入		
1				
2				
3				
4				
5				

※記載時点で計画しているものとする。